

=プレスリリース=

平成25年1月24日

## 県内の暮らしの中の情報化 に関するアンケート調査結果の概要

標記について、概要を取りまとめたので公表いたします。  
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」25年2月号に掲載予定です。

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号

財団法人 岩手経済研究所  
理事長 高橋 真裕

(担当 経営相談部 金田)

TEL 019-622-1212

## 〈 調査結果の要約 〉

当研究所では、平成11年当時、県内の情報通信機器の利用状況と情報化に対する意識のアンケート調査を行いました。今回の調査は、その後10数年が経過し、改めてアンケートにより県内の暮らしの中の情報化の現況を前回と比較して調査するとともに、インターネットの利用の状況についてもお尋ねしたものです。

### 1. 情報通信機器の利用状況

#### ～従来型携帯電話やノートパソコンが7割超、スマートフォンは3割台～

「個人あるいは家庭で利用している情報通信機器」の質問（複数回答）に対して、「従来型の携帯電話」が74.6%と最も多く、次いで持ち運びに便利な「ノートパソコン」が71.7%と7割を超えている。また、パソコン機能を持つハンディな「スマートフォン（以下、スマホ）」は31.3%と3割台に達し、最近人気のあるタッチパネル操作の「タブレット端末」は6.5%となっている（図表1）。

平成11年当時の調査（以下、前回調査）と比較すると、パソコン（ノート型、デスクトップ型）は5割台であったものが、今回はノート型だけで7割台に増加している。また、従来型の携帯電話は、前回調査（約75%）からほぼ横ばいにとどまっているが、スマホへの切り替えなどが進んでいるためとみられる。

年代別にみると、ノートパソコンは各年代とも概ね7割前後の利用率となっている。携帯電話については年代が低くなるほどスマホの割合が多く、若年層から普及が進んでいる（図表2）。

### 2. パソコン・情報端末の状況

#### （1）購入時期（保有期間）と購入費用

##### ～保有期間が長期化、価格は大幅低下～

「パソコン・情報端末の購入時期（複数ある場合は最新のものの）」の質問に対し、「5年超」が30.8%と最も多く、次いで「1年超3年以内」が25.8%、「3年超5年以内」が18.0%などの順となった（図表3）。

前回調査（区分表示が今回とやや異なる。以下同じ）では「1年以上3年未満」が約4割で最も多く、「5年以上」は1割台にとどまっておき、機能の向上などに伴い保有期間が長期化している。

また、「パソコン・情報端末（本体）の購入費用（最新のものの）」の質問に対し、「10万円超15万円以内」が27.3%と最も多く、次いで「7万円超10万円以内」が21.2%、「5万円以内」が18.4%などの順となった（図表4）。

前回調査では「24万円以上」が全体の6割強を占め、「5万円未満」は0.7%とほとんどみられなかった。逆に、今回は「25万円超」が1.2%と僅少であるなど、価格は大幅に低下している。

#### （2）購入時に重視した点および利用する際の問題点

##### ～購入時は「性能の良さ」や「価格」などを重視、

##### 「機器・ソフトの更新が早すぎる」ことなどが問題点～

「パソコン・情報端末の購入時に重視した点」の質問（複数回答）に対し、「性能の良さ」が61.2%と最も高く、次いで「価格」が60.6%、「使いやすさ」が45.9%などの順となった（図表5）。

前回調査では「性能の良さ」が7割台、「価格」が約6割、「使いやすさ」が5割台と、重視している点は今回と変わらないが、「性能の良さ」が10ポイント低下しているほか、それ以下の回答で「メーカーの知名度」や「デザイン・外見の良さ」がそれぞれ約10ポイント上昇しており、性能に対する信頼度が増していることや、特定のメーカーへのこだわりやインテリア性・ファッション性を考慮する傾向もみられる。

また、「パソコン・情報端末を利用する際の問題点」の質問（複数回答）に対し、「機器・ソフトの更新が早すぎる」が41.0%と最も高く、次いで「難しい用語が多い」が37.0%、「通信費・維持費がかかりすぎる」が36.4%などの順となった。

前回調査では、「機器・ソフトの更新が早すぎる」が5割台、「操作の仕方がわからない」が4割台、「難しい用語が多い」が4割弱であった。機能の向上などを反映して、今回も「機器・ソフトの更新が早すぎる」が問題点のトップとなったが10ポイント以上低下し、逆に「通信費・維持費がかかりすぎる」が10ポイント上昇しており、本体価格の低下に反して「通信費・維持費」の負担が増えている様子が見られる。

### 3. 携帯電話の状況

#### ～保有期間が長期化、利用料金は増加～

「携帯電話の購入時期（複数ある場合は最新のもの）」の質問に対し、「1年超3年以内」が32.3%と最も多く、次いで「5年超」が27.7%、「3年超5年以内」が13.6%などの順となった(図表7)。

前回調査では、「1年以上3年未満」が半数近くだったほか、「5年以上」は6.0%にとどまるなど、今回は特に「5年超」の利用者が目立って増えており、パソコンと同様、機能の向上などに伴い保有期間が長期化している。

また、「個人の携帯電話の利用料金（最近1カ月当たり平均）」の質問に対し、「7千円超1万円以内」が30.3%と最も多く、次いで「5千円超7千円以内」が22.0%、「3千円超5千円以内」が18.5%などの順となった(図表8)。

前回調査では、「3千円以上5千円未満」が3割台で最も多かったがその割合は減少した。今回は特に「7千円以上1万円以内」が10ポイント以上上昇するなど、利用頻度の増加などから全体に支出が増加している。反面、「3千円以内」の節約型も約10ポイント上昇し、支出を抑制する動きも一部にみられる。

### 4. インターネットの利用状況

#### (1) 利用の有無と利用の目的

##### ～約9割がインターネット利用者で裾野が広がる～

「個人のインターネットの利用状況」の質問に対して、「いつも利用している」が57.8%と半数以上であり、「時々利用している」(32.6%)と合わせて約9割が利用している(図表9)。

前回調査では、「利用している」と「利用していないが近々利用する予定」を合わせても5割台にとどまっており、暮らしの中の情報化の進展に伴って利用者の裾野が大きく広がっている。

また、「インターネットの利用目的」の質問（複数回答）に対し、情報収集や検索などの「ホームページやブログの閲覧」が78.7%、次いでネットショッピングなど「商品やサービスの購入・取引」が67.4%、「電子メールの受発信」が62.7%などとなっている(図表10)。

今後、スマホやタブレット型端末など新たな機能を持つ情報通信機器の普及が進めば、用途はさらに広がっていくものとみられる。

#### (2) 利用する際の不安、利用に伴う被害や対策

##### ～「ウイルス感染」が不安のトップ、約4人に1人が何らかの被害を経験～

「インターネットを利用する際の不安」の質問（複数回答）に対し、「ウイルスの感染」が79.7%で最も高く、「個人情報の保護」が73.8%、「セキュリティ対策の信頼性」が51.6%などの順となった(図表11)。

さらに「インターネットを利用した際の被害の有無」の質問では、「被害を受けたことがある」が25.9%と約4人に1人が何らかの被害を経験している(図表12)。

被害を受けた人に対する「具体的内容」の質問（複数回答）では、「迷惑メールを受信（架空請求を除く）」が82.1%で断然高く、次いで「ウイルスを発見（被害なし）」が27.4%、「架空請求メールを受信」が25.0%、「ウイルスに感染」については21.4%となっている(図表13)。

また、被害の有無にかかわらず、利用者に「迷惑メール対策やウイルス対策の状況」を質問（複数回答）したところ、約95%が対策を講じているとしている。

このうち、「ウイルス対策ソフトの使用」が63.8%で最も多く、次いで「知らない人からのメールや添付ファイルを不用意に開かない」が52.2%、「メール指定受信拒否機能を使用」が32.8%、「プロバイダが提供するウイルス対策サービスの利用」が26.3%などの順となった(図表14)。

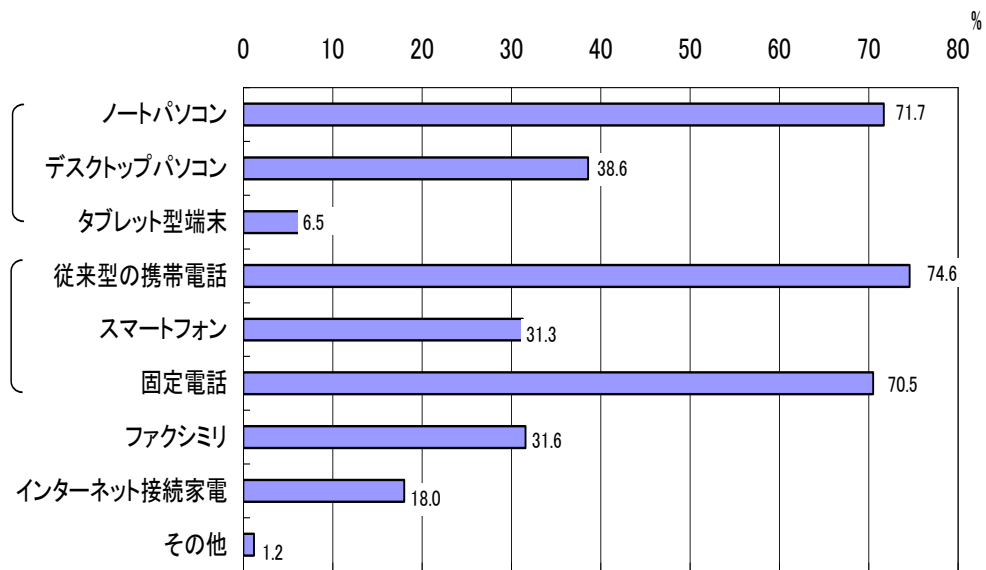


上記アンケートにみるとおり、県内の暮らしの中の情報通信機器は、平成11年当時と比べ格段に普及が進んできており、インターネットの利用もさらに活発になっていくとみられる。しかし現在、インターネット利用者の多くがウイルス感染などに対する不安を感じており、何らかの対策を講じているものの、ウイルスは日々変化するなど完全には不安を払拭できない状況にある。

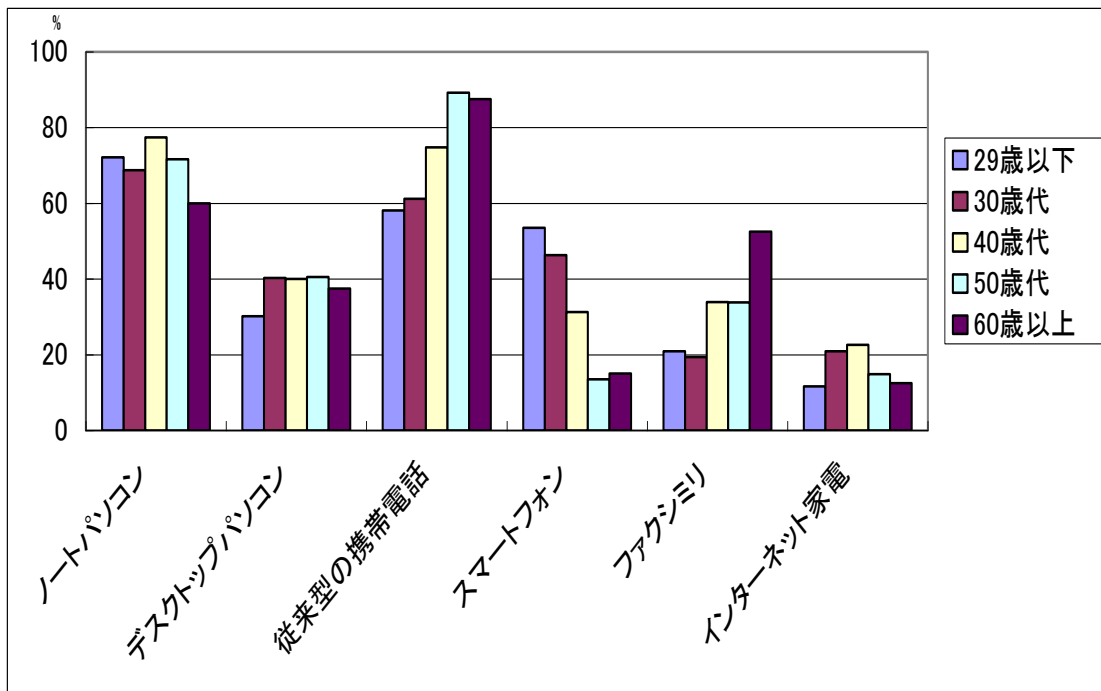
情報通信機器の活用は、今後もわれわれの生活の利便性を向上させ、豊かにしていくことが期待されるが、不測の被害を受けることがないように、くれぐれも注意を怠らないようにしていく必要がある。

資料(図表1～14)

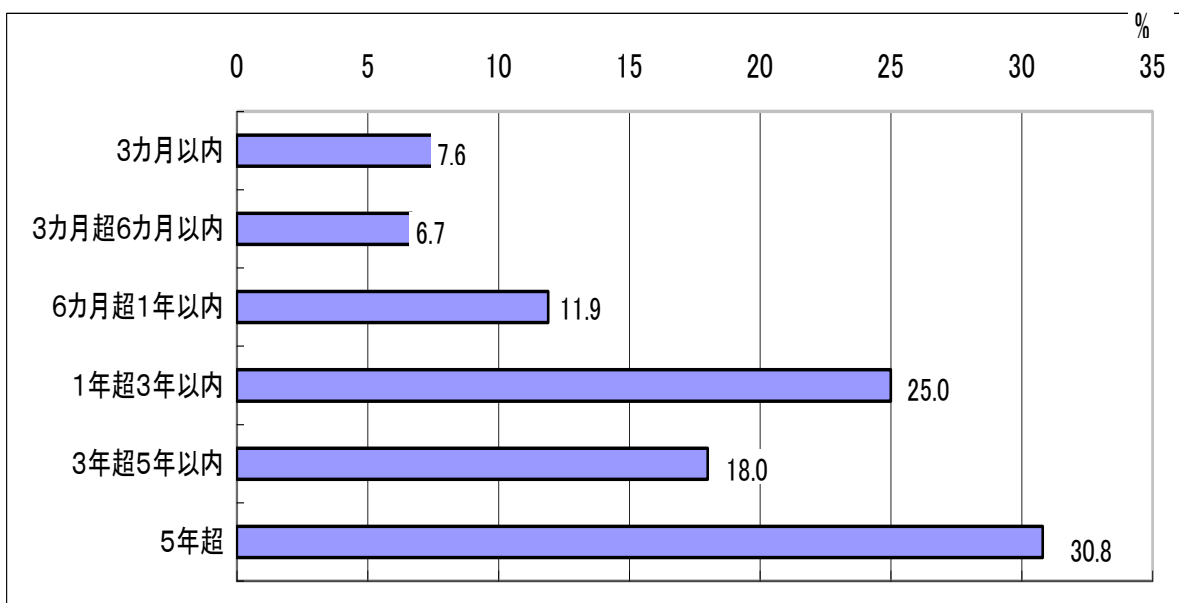
図表1 利用している情報通信機器（複数回答）



図表2 利用している主な情報通信機器（年代別、複数回答）

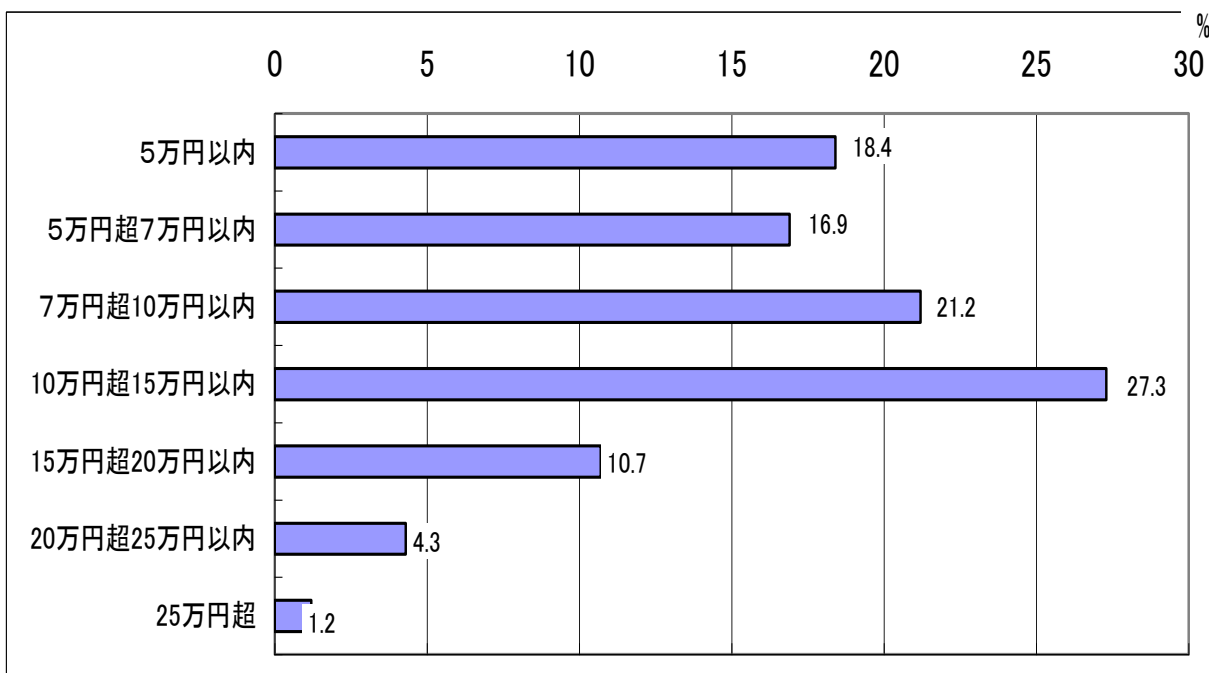


図表3 パソコン・情報端末の購入時期（保有期間）

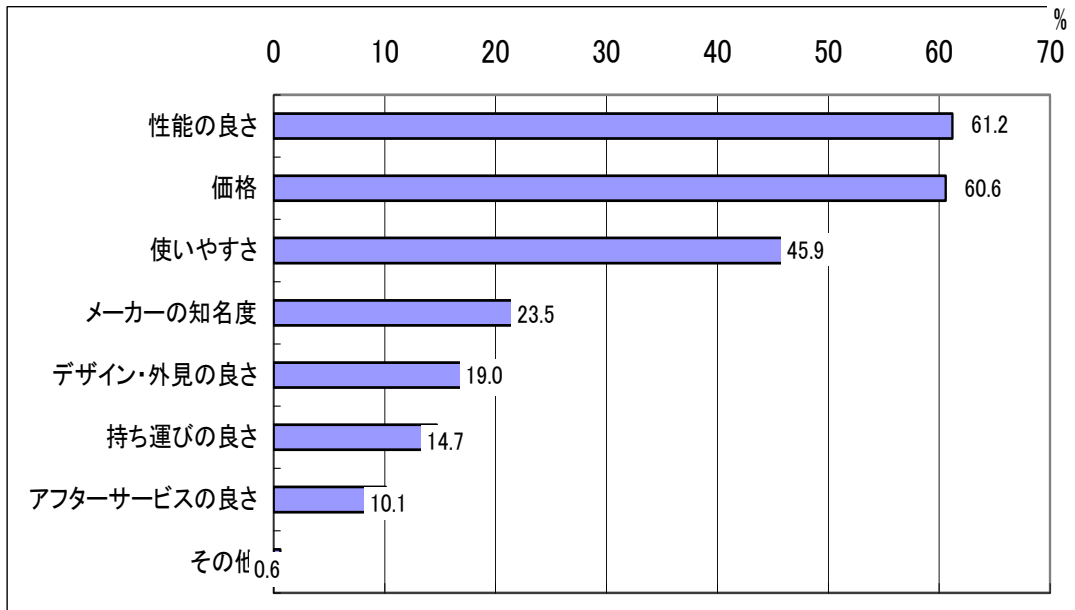


(注)複数利用している場合は、最新の機器の購入時期（保有期間）

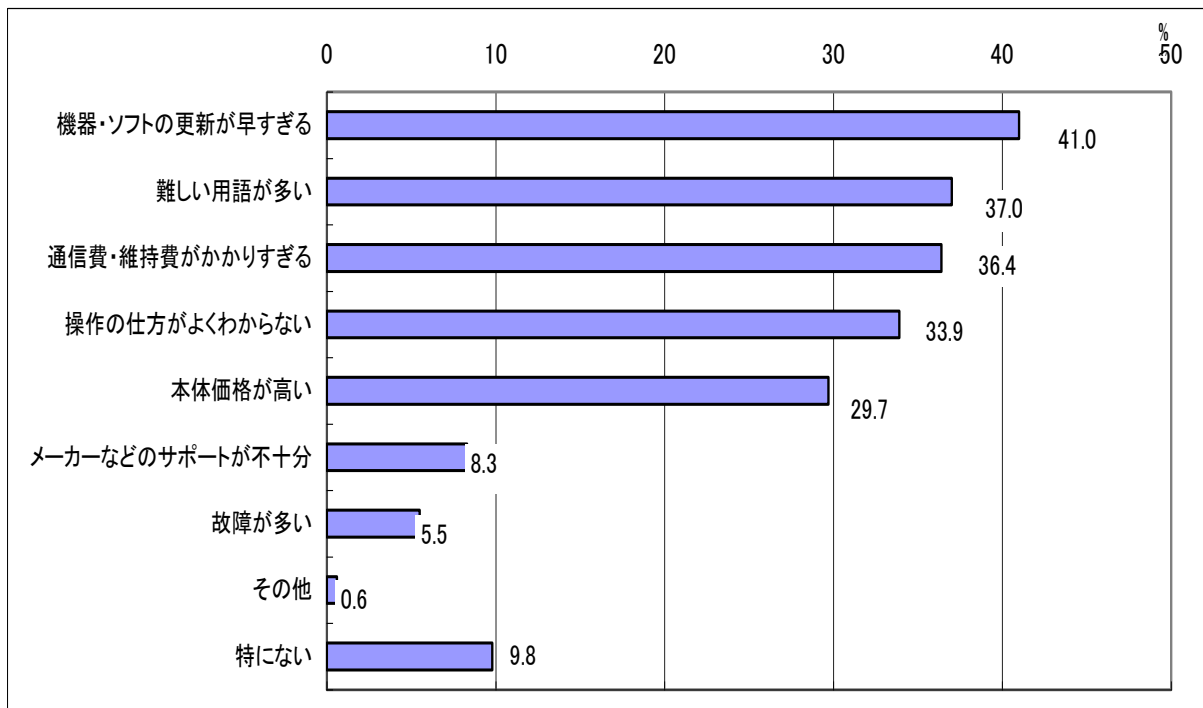
図表4 パソコン・情報端末(本体)の購入費用



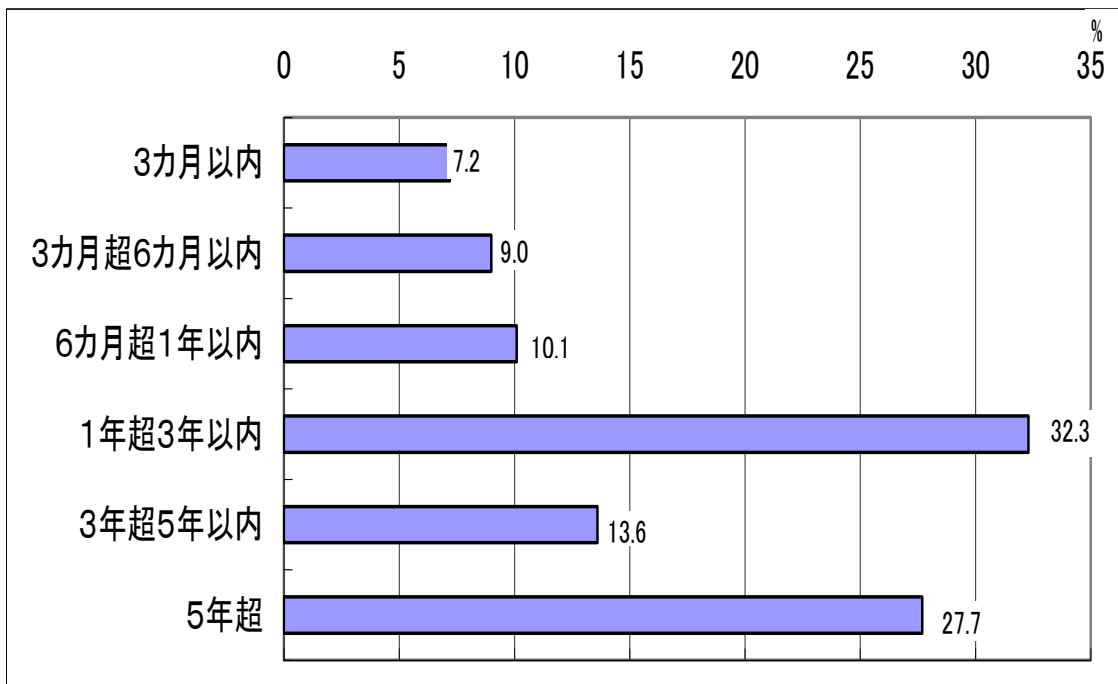
図表5 パソコン・情報端末購入時に重視した点(複数回答)



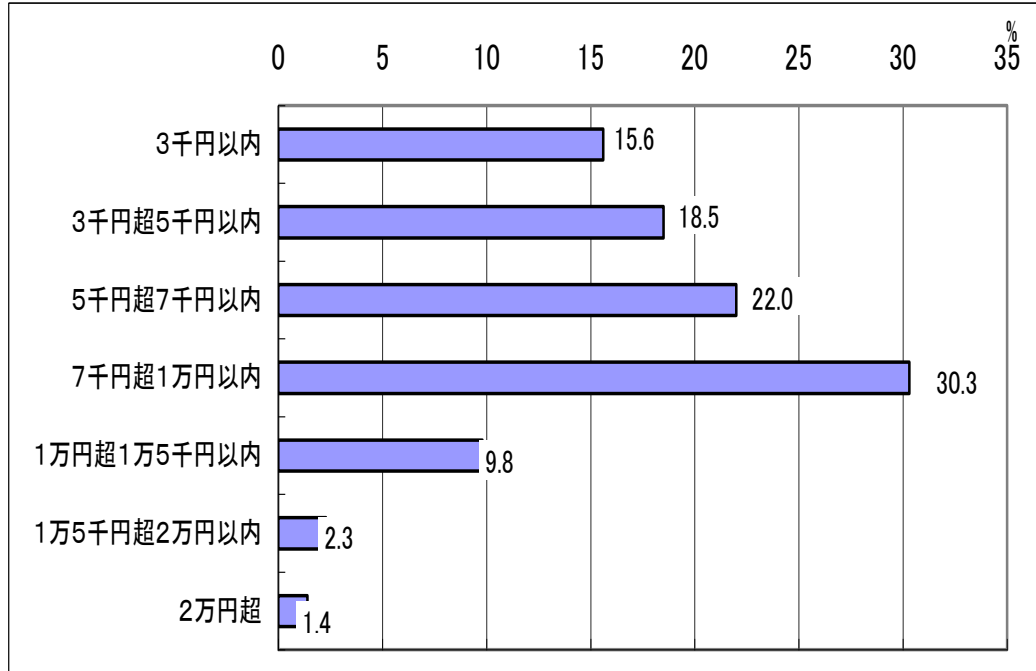
図表6 パソコン・情報端末を利用する際の問題点(複数回答)



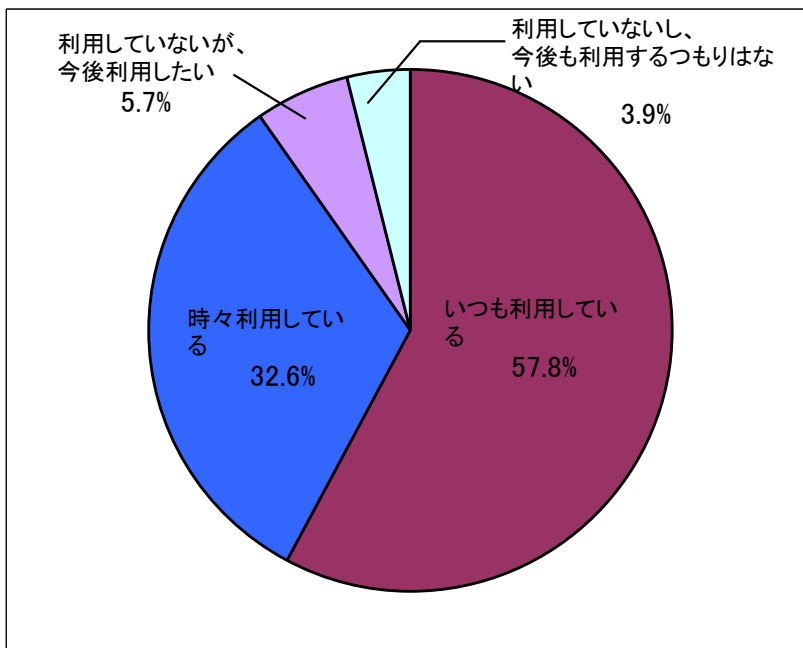
図表7 携帯電話の購入時期（保有期間）



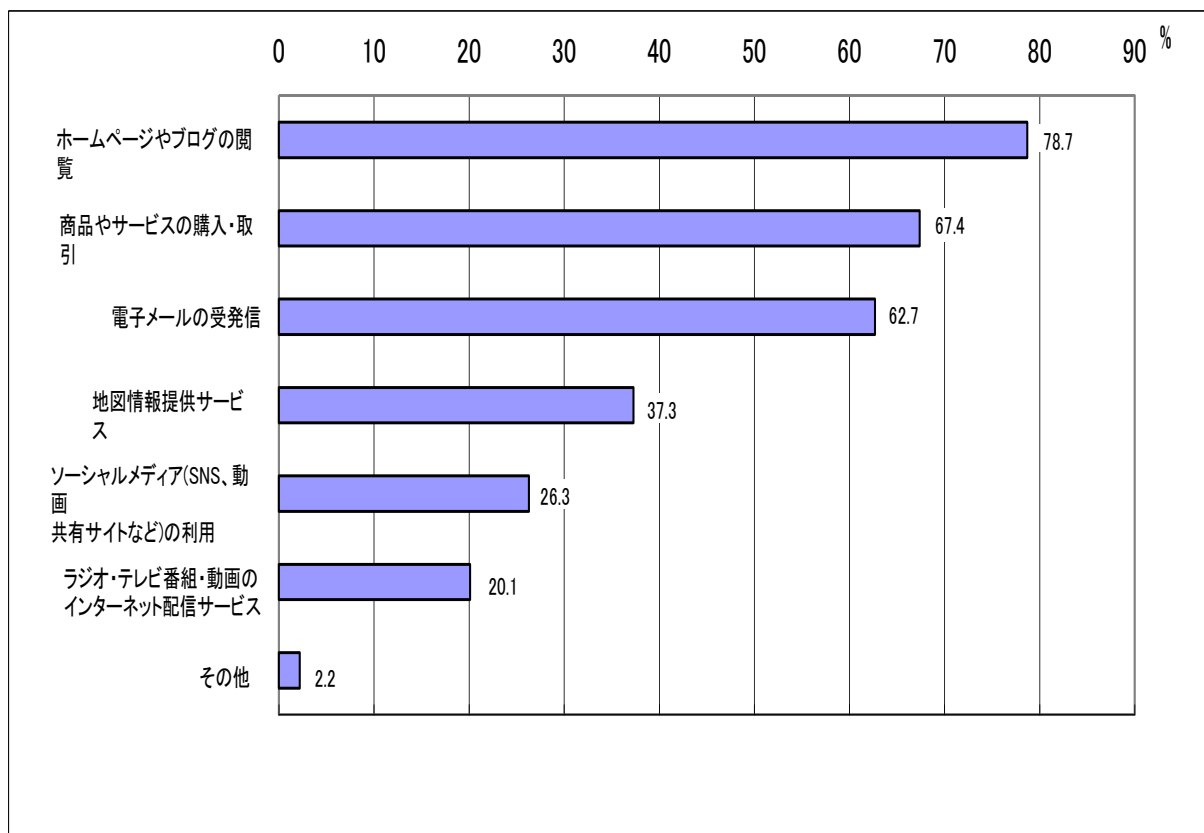
図表8 携帯電話の利用料金(1カ月当たり平均)



図表9 個人のインターネット利用状況

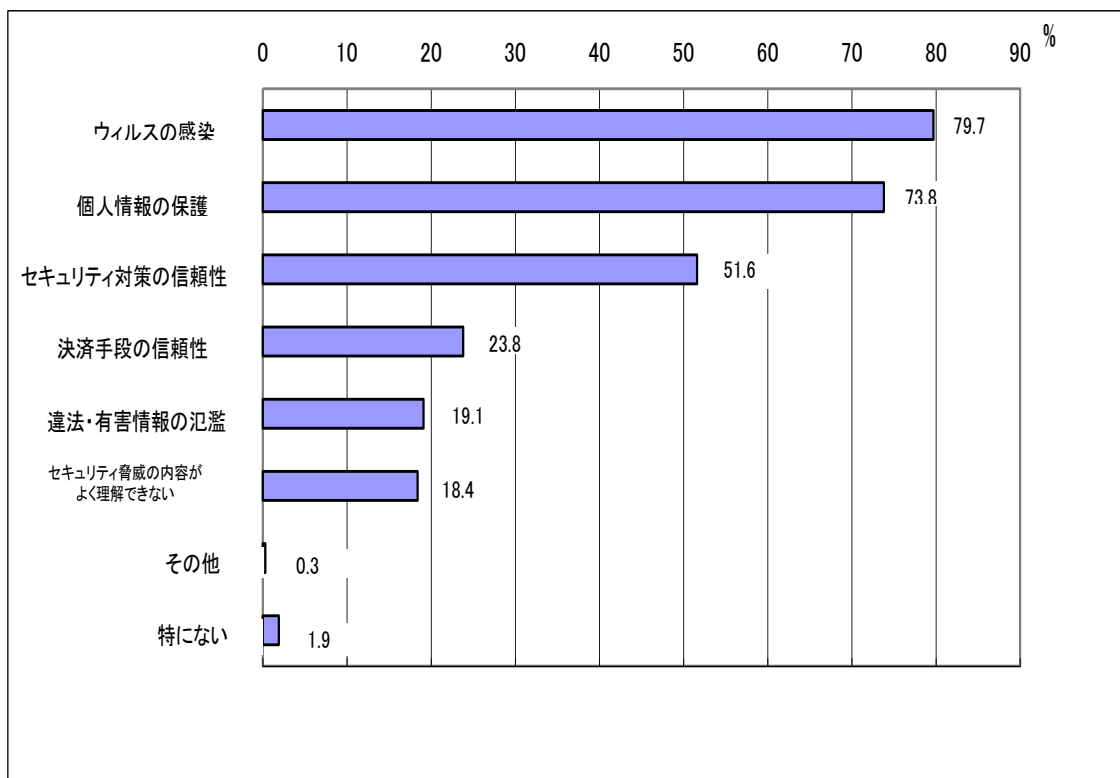


図表10 インターネットの利用目的 (複数回答)

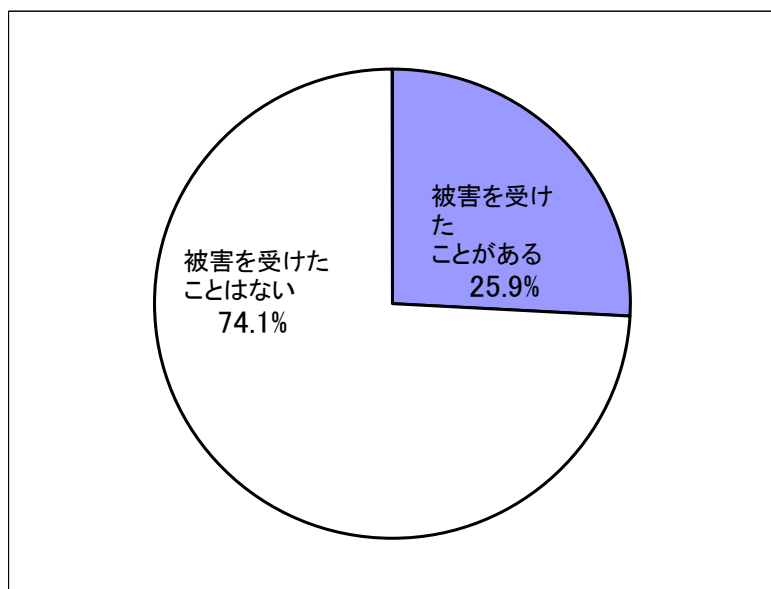




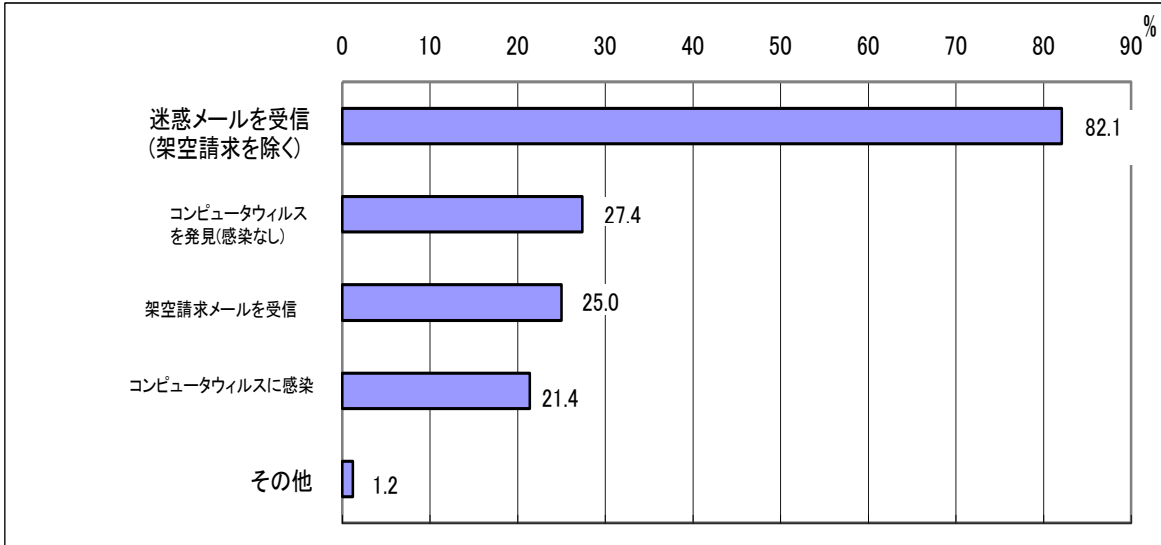
図表11 インターネットを利用する際の不安(複数回答)



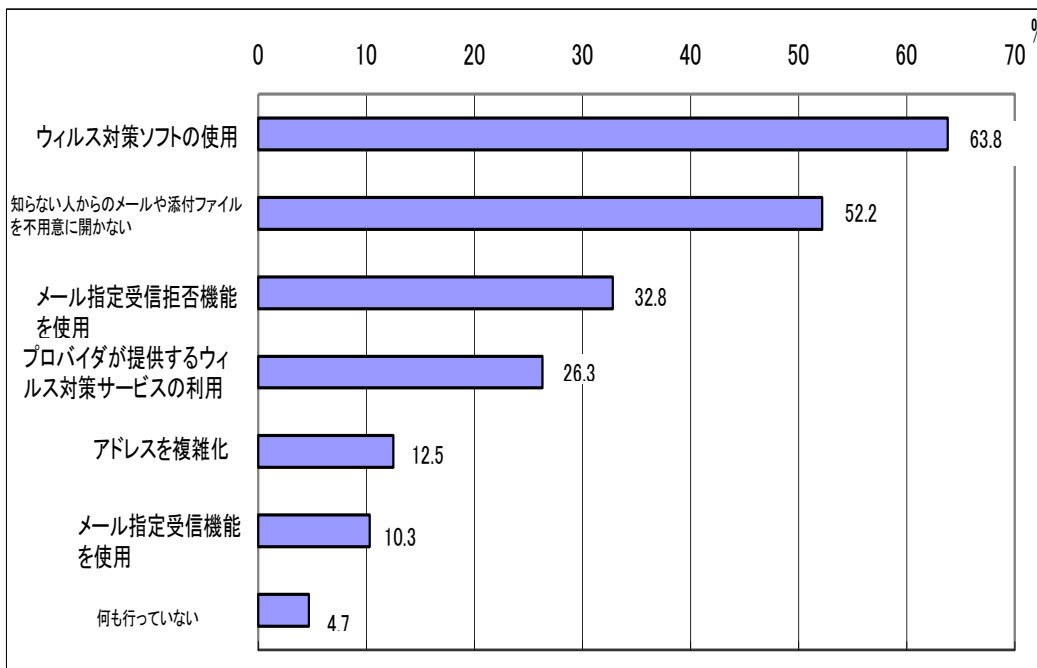
図表12 インターネット利用による被害



図表13 インターネット被害の内容(複数回答)



図表14 現在の迷惑メール対策やウイルス対策(複数回答)



# < 調査要領 >

## 1. 調査時期

平成24年11月

## 2. 調査対象

岩手県内在住者800名

## 3. 回答者数および属性

合計376名 (回答率47.0%)

性別	男性	170名
	女性	206名
年代別	29歳以下	48名
	30歳代	76名
	40歳代	123名
	50歳代	82名
	60歳以上	47名

以上